

## マーケットの動き（2022年9月19日～9月23日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

21日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では0.75%の利上げと積極的な利上げの継続が示された一方、日銀金融政策決定会合では金融緩和維持が決定されたことを受け、日米の金融政策の違いを背景とした米ドル高・円安が進行しました。22日に政府・日銀が為替介入を実施したことで、米ドル円相場は一時140円台まで下落しましたが、週末にかけて持ち直しました。

ユーロは、前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

## 投資環境見通し（2022年9月）

円に対して、米ドルは強含み、ユーロは横ばい

**米ドル：**日銀とFRB（米国連邦準備制度理事会）との金融政策の違いに加え、米国景気の相対的な底堅さ、エネルギー価格が上昇する中で米国の燃料輸出国の優位性が注目されるとみられます。ドルは円に対して小幅ながら強含むとみています。

**ユーロ：**日銀とECB（欧州中央銀行）との金融政策の違いがユーロの上昇要因となる一方、欧州景気の先行きに対する懸念が重しになるとみられます。ユーロは円に対して横ばいで推移するとみています。

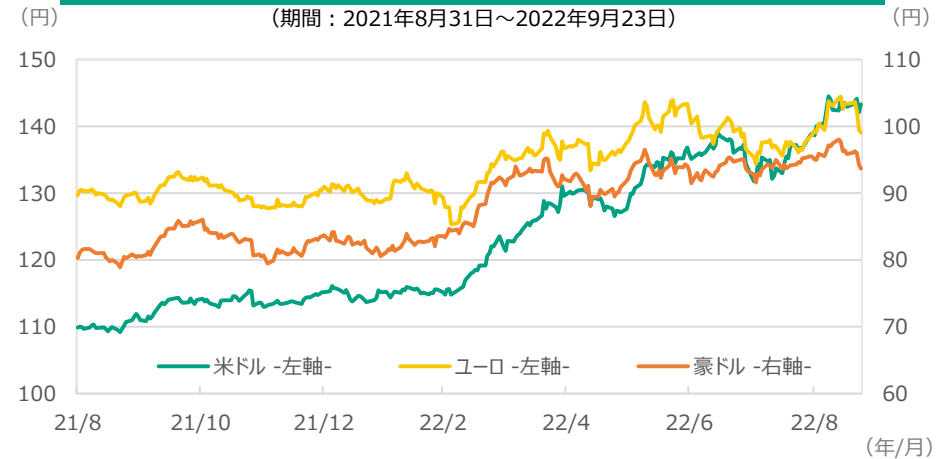
	9月23日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	143.29	0.34	7.04	22.25	33.15
ユーロ/円	139.07	▲4.31	3.00	5.90	9.66

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

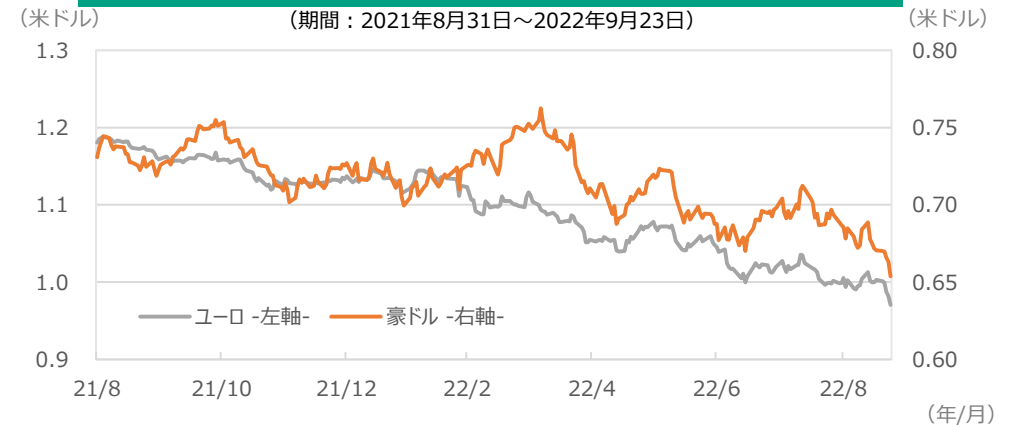
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202209\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>